

亀の川を考える会 議事概要

日 時：令和6年11月27日(水) 14:00～15:00

場 所：海南市海南保健福祉センター 第1研修室

1. 開会

2. 出席者紹介

3. 議事

(1) 亀の川を考える会規約について

事務局から規約（案）について説明し、委員から承認をいただいた。

(2) 二級河川亀の川水系河川整備計画について

事務局から河川の計画制度及び二級河川亀の川水系河川整備計画（変更）について説明し、委員から意見・質問をいただいた。

<議事でいただいた主な意見・質問>

(◆：委員 →：事務局)

◆海南市岡田地区の堤防が薄いのもっと厚みを持たせてほしい。

→今後実施する測量・設計において、必要な堤防の幅を検討していく。

◆室山団地は度々浸水している。もし大坪川が決壊するとさらに浸水被害が拡大する。

亀の川と大坪川合流点付近にポンプを設置できないか。潮位の影響を受けると大坪川から亀の川への水はけがわるい。

→亀の川本川の整備が進めば、水位が下がるため支川の大坪川に対しても水位低減効果はあると考えている。以前よりポンプ設置の要望があることは理解しているが、まずは状況を見ていきたい。

◆上流の大師橋付近は川幅が狭く、矢口橋付近は左岸堤防が低いので、浸水しやすい。

地域に相談いただき進めてほしい。

→下流からの整備となるのですぐには難しいが、何か対策できないか検討していく。

◆昨年6月豪雨の際、海南市の岡田地区ポンプ場は稼働していたが、和歌山市の本渡地区ではポンプ場が止まっている時間があつたので浸水した。ポンプのマニュアル等を整備し県と市で連携すべき。

→ポンプの運用について県と市で調整を図っていく。

◆護岸の計画はどうなっているのか。老朽化しているところもある。

→今回の整備計画の変更では、現在の河床を掘削し下げていることを考えている。

羽鳥橋から上流については、昭和 40、50 年頃に作られた護岸が多い。今後、詳細な調査・設計を行い、護岸の根入れが不足するところや老朽化している護岸は、やり直しも考えられる。

◆令和 7 年度中に中橋～羽鳥橋までが概ね完成するという事で感謝しており、内水に関しては、地元区として和歌山市と連携していく。

4. 閉会